

2016年度 第2四半期決算と 通期業績予想

2016年11月15日
日本軽金属ホールディングス株式会社

目次

1. 2016年度 第2四半期決算

2. 中期経営計画の進捗

① 2016年度連結業績予想

② 3ヶ年計画遂行指針および進捗

1. 2016年度 第2四半期決算

2. 中期経営計画の進捗

① 2016年度連結業績予想

② 3ヶ年計画遂行指針および進捗

第2四半期決算 — 前年同期比

(億円)

	2016/4-9 実績	2015/4-9 実績	増減
売上高	2,171	2,297	△126 (△5.5%)
営業利益	133	125	+8 (+6.4%)
経常利益	114	111	+3 (+2.6%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	85	68	+17 (+26.3%)

セグメント情報 — 前年同期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2016/4-9 実績	2015/4-9 実績	増減	2016/4-9 実績	2015/4-9 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	502	574	△72 (△12.6%)	55	51	+4 (+7.7%)
板、押出製品	473	539	△66 (△12.3%)	24	15	+9 (+59.9%)
加工製品、 関連事業	725	688	+37 (+5.4%)	43	42	+1 (+0.9%)
箔、粉末製品	471	496	△25 (△5.0%)	26	31	△5 (△13.6%)
管理・共通	—	—	—	△15	△14	△1
合 計	2,171	2,297	△126 (△5.5%)	133	125	+8 (+6.4%)

主要会社の業績 — 前年同期比

(億円)

	2016年度第2四半期			2015年度第2四半期		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	615	30	65	685	19	40
東洋アルミニウム (連結)	473	26	25	498	31	29
日軽エムシーアルミ (連結)	267	14	15	312	11	9
日本フルハーフ (連結)	332	20	19	294	12	11
日軽金アクト (連結)	210	8	7	225	9	9

目次

1. 2016年度 第2四半期決算

2. 中期経営計画の進捗

① 2016年度連結業績予想

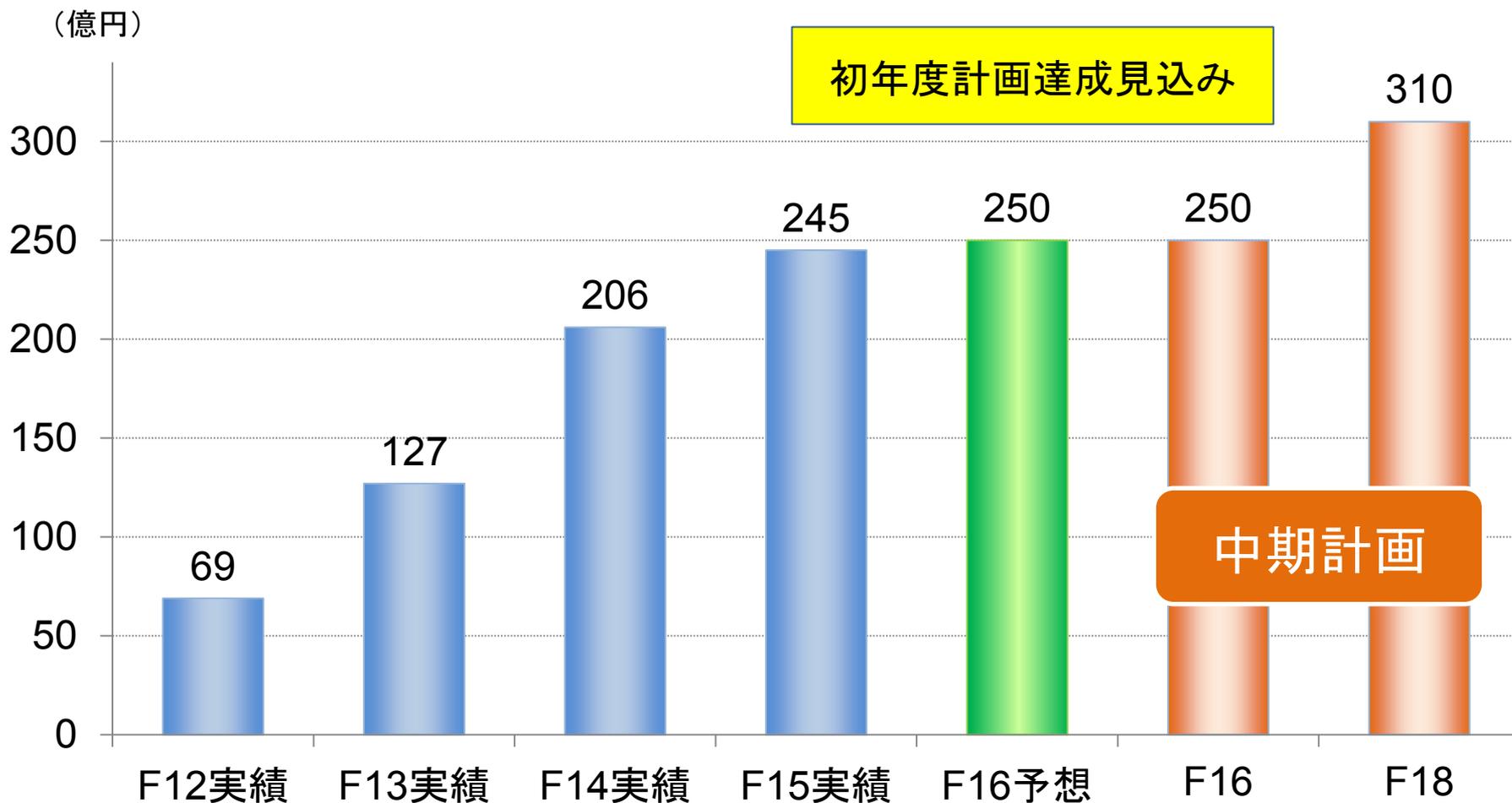
② 3ヶ年計画遂行指針および進捗

通期業績予想 — 前期比

(億円)

	2016年度 予想 (10/28)	2015年度 実績	増減
売上高	4,450	4,644	△194 (△4.2%)
営業利益	270	268	+2 (+0.7%)
経常利益	250	245	+5 (+1.9%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	160	155	+5 (+3.0%)
有利子負債	1,650	1,822	△172
D / E レシオ	1.2倍	1.4倍	△0.2p
R O C E	9.2%	9.0%	+0.2p

經常利益推移



前期に対する利益増減要因

業績	分野	ユニット
<p>牽引 (プラス)</p>	<p>輸送 自動車・電機電子 電機電子 自動車</p>	<p>日本フルハーフ、日軽金アクト 日軽エムシーアルミ(海外) 日軽金(板)、 ニッケイ・サイアム(熱交) ニッケイ・サイアム(板)</p>
<p>減益 (マイナス)</p>	<p>食品他 鉄鋼 電機電子他</p>	<p>日軽パネルシステム 日本電極 東洋アルミニウム</p>

国内×輸送 <日本フルハーフ・日軽金アクト>

【業況】

- ・ 需要好調・顧客よりさらに増量要請
 - フルハーフ厚木、アクト新潟フル操業
- ・ 生産能力不足
 - 一部車種で長納期

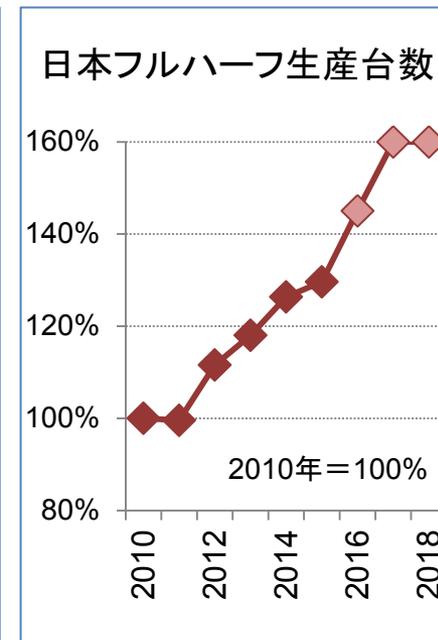
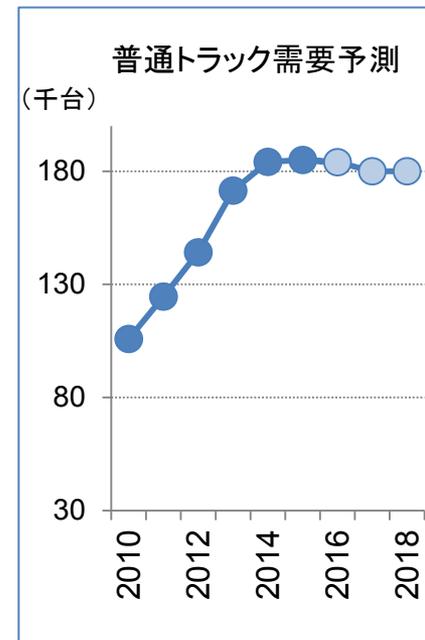
【対応策】

◇ 日軽金アクト

新潟で架装部品の加工能力増強
⇒ 厚木の加工負荷低減

◇ 日本フルハーフ

厚木で塗装、組立て工程整流化
⇒ 高付加価値＋生産能力増強



2016-2018は高水準を維持

- ・ 排気ガス規制(2003年)の代替需要
- ・ 燃料安で物流会社の投資意欲旺盛
- ・ 消費税増税駆け込み
- ・ 新排ガス規制
- ・ オリンピック・パラリンピック

グループ連携でトラック架装を更に強化

国内・海外×自動車・電機電子 <日軽エムシーアルミ>

【業況】

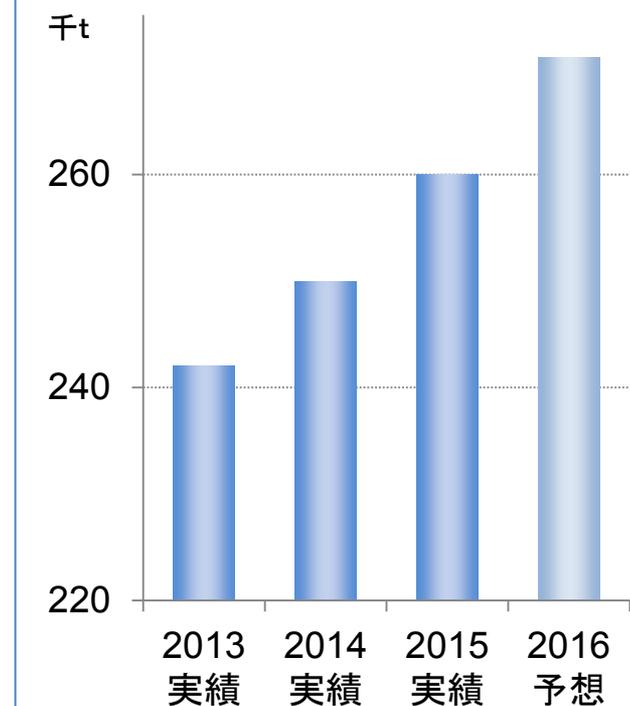
<国内>

- ・顧客ニーズに合わせた開発合金・効率的生産体制 - 収益確保
- ・輸入塊(円高)との競争激化

<海外>

- ・中国：自動車向け出荷堅調、電機電子向け開発合金 - 新規顧客開拓
- ・米国：自動車向け開発合金 - 新規顧客開拓
- ・タイ：顧客ニーズに合わせた高品質品・輸出向け好調
第2工場建設中

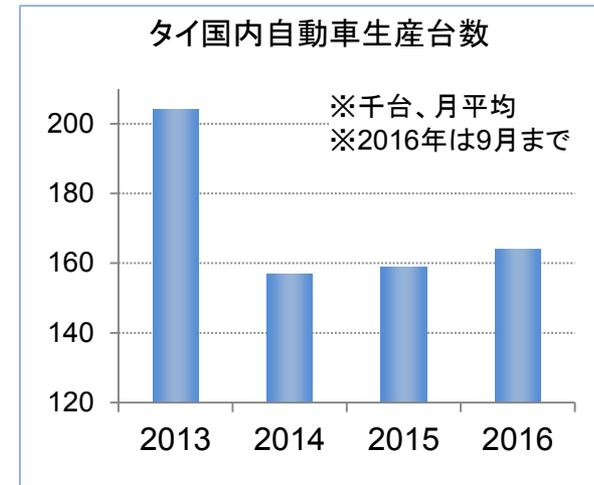
日軽エムシーアルミ販売量



ASEAN×自動車・電機電子他 <ニッケイ・サイアム>

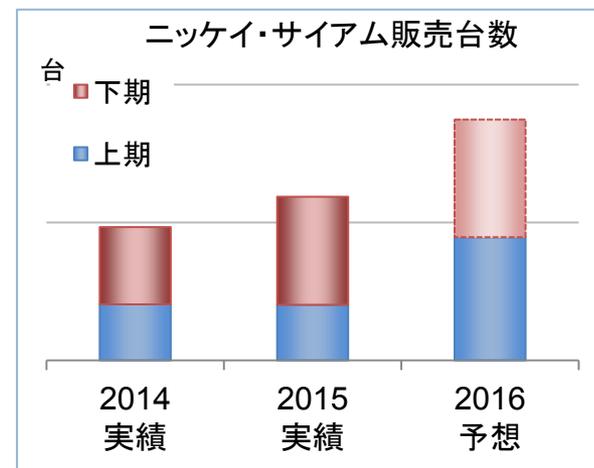
【ニッケイ・サイアム板】

- ・タイ自動車生産台数 - 回復傾向
- ・ニッケイ・サイアム・東洋アルミ協働 - 品質改善
⇒ 食品向け箔出荷量回復
- ・数量増・地金差損減少 - 2期連続黒字



【ニッケイ・サイアム熱交】

- ・ルームエアコン用オールアルミ熱交換器生産
- ・日系メーカー中心に販売
⇒ タイおよび近隣ASEAN諸国へ供給
- ・小型、高性能ニーズに対応
- ・販売数量増加 - 2期連続黒字



目次

1. 2016年度 第2四半期決算

2. 中期経営計画の進捗

①2016年度連結業績予想

②3ヶ年計画遂行指針および進捗

2018年度 数値目標

(億円)

	<2015年度>	<2018年度>
売上高	4,644	5,000
営業利益	268	320
経常利益	245	310
親会社株主に帰属する当期純利益	155	200
期末有利子負債	1,822	1,600
D / E レシオ	1.4倍	1.0倍以下
R O C E	9.0%	10.0%超

<前提>

アルミ地金: 240 円/Kg

為替: 110 円/US\$

私たちが歩んできた道と未来

過去4回の中期経営計画 …

新しいタイプの素材メーカーへの模索

アルミにこだわり、アルミを超えてゆく
アルミとアルミ関連素材の用途開発を永遠に続ける

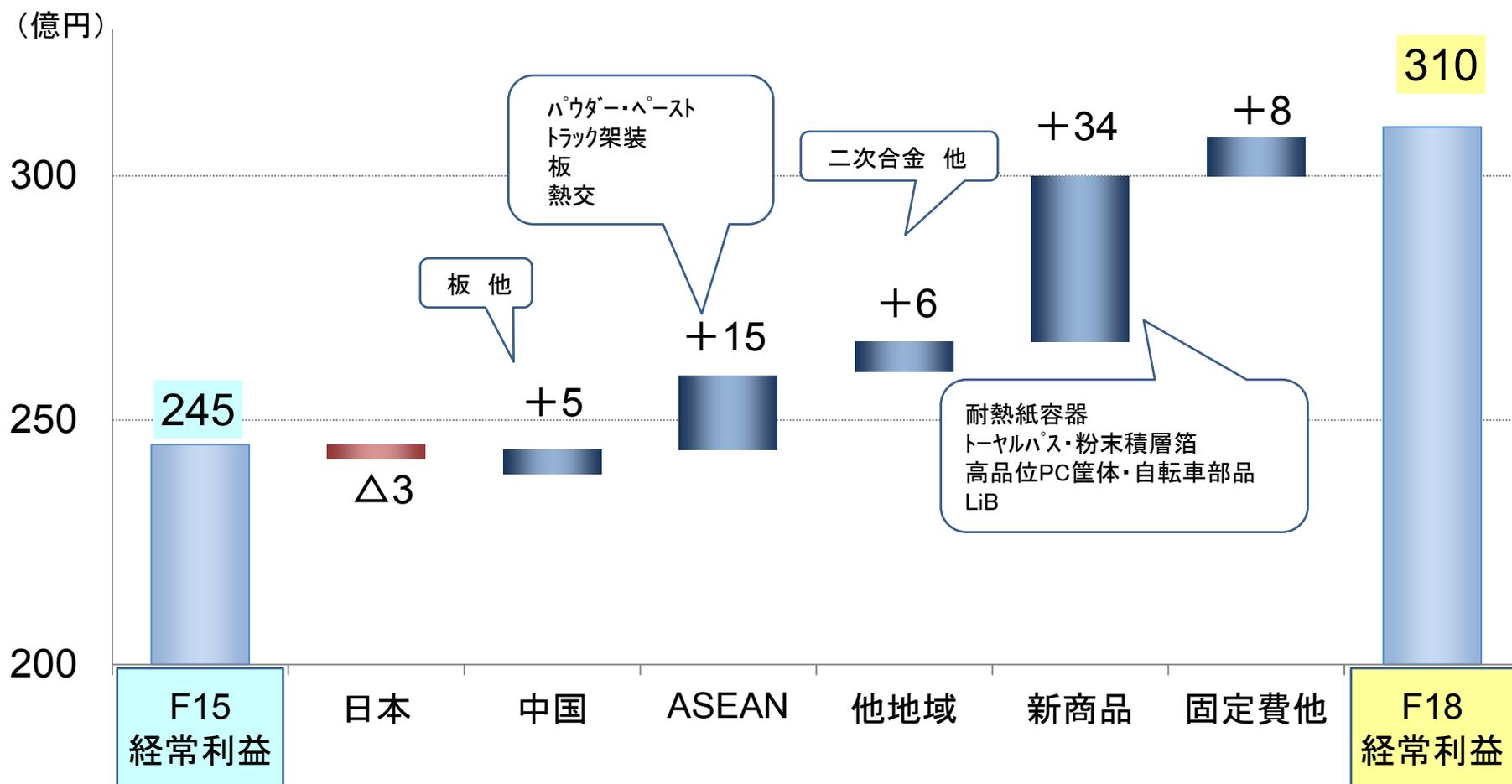
私たちは挑戦者としてジャンプ台に立つことが許される立場となれた

そして今、新しい挑戦 …

チーム日軽金として 異次元の素材メーカーへ

経常利益変化要因 — 3ヶ年

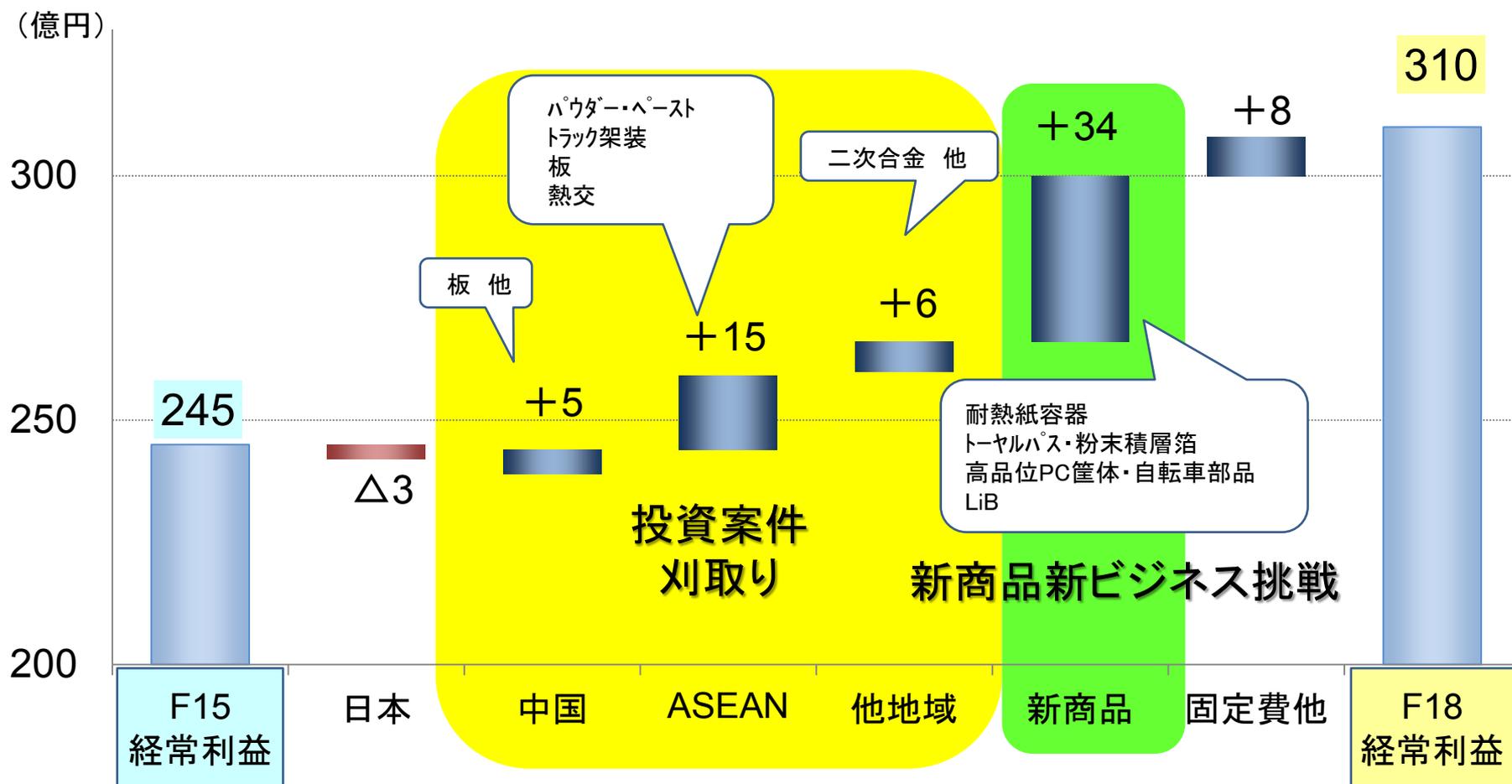
15年度 245億円 ⇒ 18年度 310億円 +65億円



※地域別は新商品を除く

経常利益変化要因 — 3ヶ年

15年度 245億円 ⇒ 18年度 310億円 +65億円



※地域別は新商品を除く

基本方針

<基本方針>

1. グループ連携による新商品・新ビジネスモデルの創出

- グループ連携の強みを徹底的に追求した高付加価値を提供
- 顧客視点に基づき、ものづくりに周辺サービスを含めた商品・ビジネス開発

2. 地域別×分野別戦略による事業展開

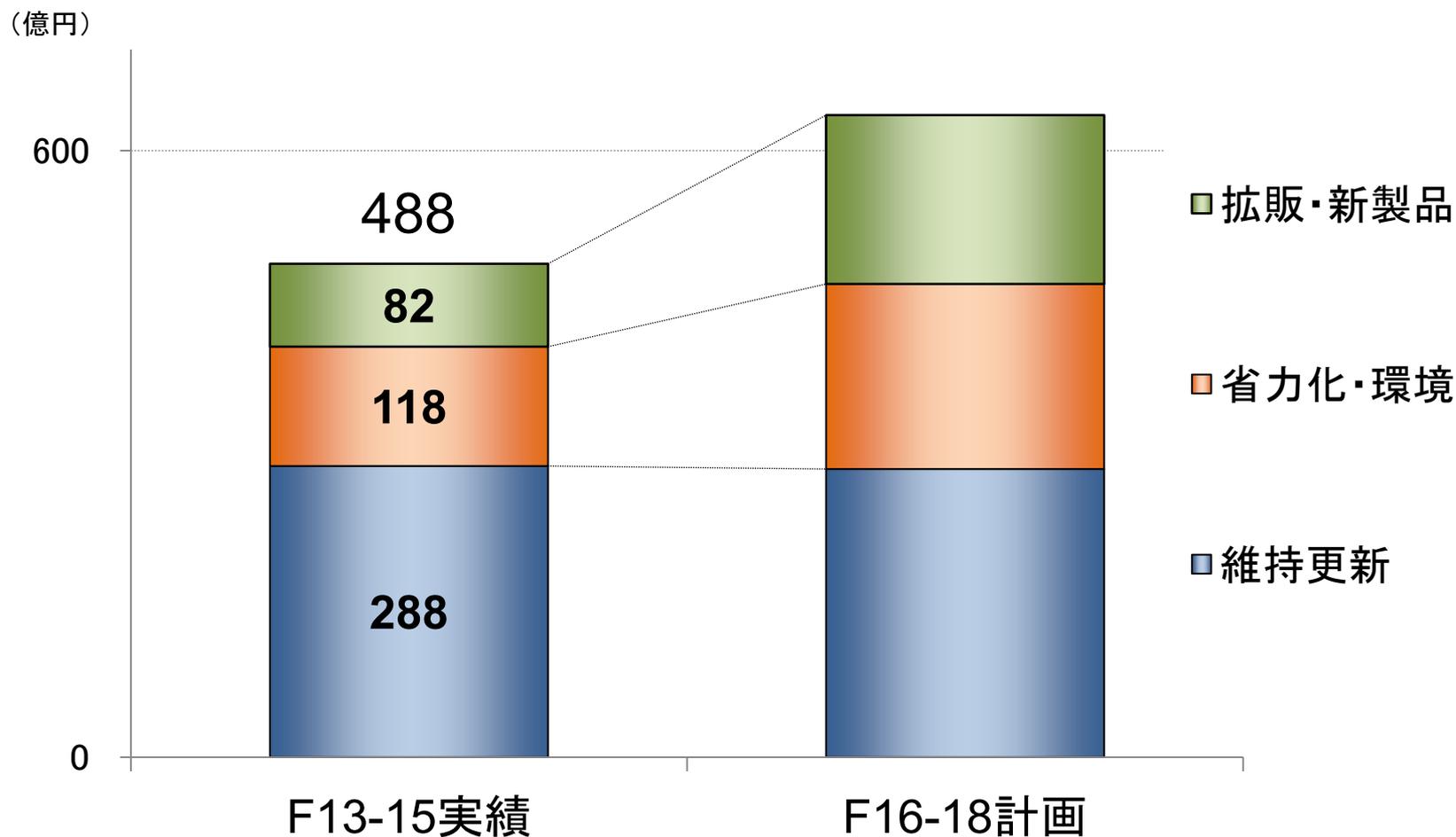
- 資源投入する分野を地域と市場のマトリクスから選別
- ビジネスに応じ自由自在に集合・離散できる俊敏な組織運営

3. 企業体質強化（事業基盤強化）

- グループ連携視点でビジネス創生できる人財の育成
- 課題事業の収益向上

積極的な設備投資

3年間で600億円超の設備投資(追加の戦略投資も検討)



基本方針

<基本方針>

1. グループ連携による新商品・新ビジネスモデルの創出

- ▶ グループ連携の強みを徹底的に追求した高付加価値を提供
- ▶ 顧客視点に基づき、ものづくりに周辺サービスを含めた商品・ビジネス開発

2. 地域別×分野別戦略による事業展開

- ▶ 資源投入する分野を地域と市場のマトリクスから選別
- ▶ ビジネスに応じ自由自在に集合・離散できる俊敏な組織運営

3. 企業体質強化（事業基盤強化）

- ▶ グループ連携視点でビジネス創生できる人財の育成
- ▶ 課題事業の収益向上

巾広いグループ商材で顧客ニーズを先取り

リチウムイオン電池関連材料

【市場動向】

- ・ 車載用需要拡大
- ・ スマートフォンやタブレット型端末機の拡大

【顧客の要望事項】

- ・ 軽量、通電性、加工性、安全性
- ・ 表面抵抗の低減、密着性向上

【NLMの強み】

- ・ 素材から加工品まで機能提供

グループ商材

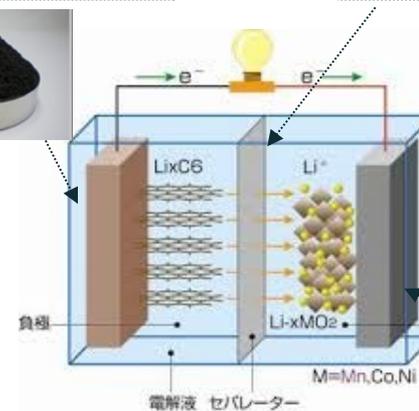
ケース様式(角型・ラミネート・円筒型)



(用途)
 リチウムイオン電池正極集電体
 リチウムイオンポリマー電池外装材

負極用黒鉛

アルミナ



電極用箔

日本軽金属

東洋アルミニウム

日軽金アクト

日本電極

素材開発力×加工技術でオンリーワンの価値創造

電機・電子分野 スマートフォン向け材料

【市場動向】

- ・ 筐体のメタル化 - トrend
(薄肉化/高級感)
- ・ アルミ要望が高い
(軽量/色彩豊富)

【顧客の要望事項】

- ・ 高熱伝導性
- ・ 高強度
- ・ 高精度形状

【NLMの強み】

- ・ 合金開発力
- ・ 間接押出技術
- ・ 一気通貫(素材から加工)

【事業進捗】

- ・ 2015年SIMスロット・シャーシに採用
⇒ 今後、筐体の受注を目論む



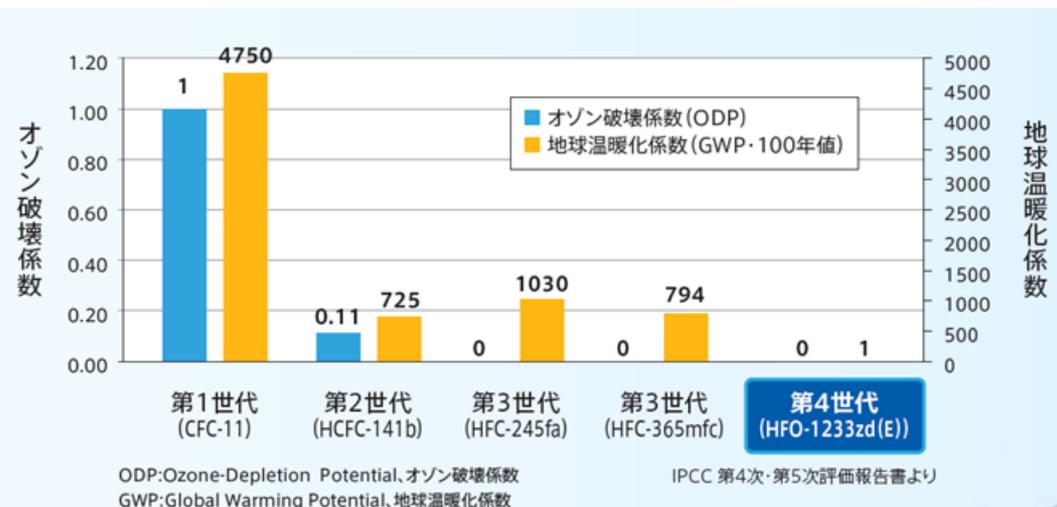
環境対応に先駆けた高付加価値商品開発力

食品・クリーンルーム分野 ノンフロン断熱不燃パネル

断熱・不燃・環境性能を追求した世界初「ジェネスタ不燃」*

- ・ HFO(ハイドロフルオロオレフィン)使用
- ・ オゾン層破壊係数ゼロ・地球温暖化係数ほぼゼロ
- ノンフロン環境配慮型商品

* 注入発泡式金属サンドイッチパネルにおいて世界初の技術



日軽パネルシステム

日本軽金属

基本方針

<基本方針>

1. グループ連携による新商品・新ビジネスモデルの創出

- グループ連携の強みを徹底的に追求した高付加価値を提供
- 顧客視点に基づき、ものづくりに周辺サービスを含めた商品・ビジネス開発

2. 地域別×分野別戦略による事業展開

- 資源投入する分野を地域と市場のマトリクスから選別
- ビジネスに応じ自由自在に集合・離散できる俊敏な組織運営

3. 企業体質強化（事業基盤強化）

- グループ連携視点でビジネス創生できる人財の育成
- 課題事業の収益向上

国内×トラック架装 <日本フルハーフ>

厚木工場再構築による品質・生産効率増強

【再構築の意義】

- ・ 温度管理車・ウイング車拡販 … シェアアップ
- ・ 整流化による生産性向上
- ・ 塗装品質向上
- ・ 省人化による労働人口減少対応
- ・ アフターサービス事業への資源配分
- ・ 場内安全性向上



温度管理車



コスト競争力強化

【建設期間】

- 新塗装工場完成 … 2016年度
- 再構築最終期完成 … 2018年度

常に生産能力を落とさず再構築



連結トレーラー(全長21メートル)

国内×食品・クリーンルーム <日軽パネルシステム>

【市場動向】

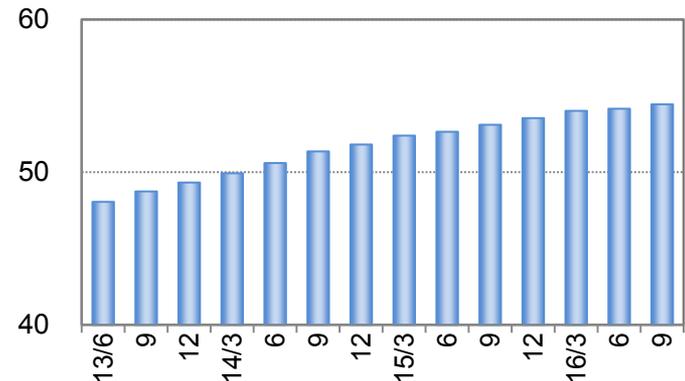
<低温空間>

- ・ 食品・流通業界 - 安定成長
- ・ 「食の安全」、「質の向上」ニーズ
- ・ コンビニ業界 - 新規出店継続

<清浄空間>

- ・ 半導体・精密機器 - 需要堅調
- ・ 医薬・バイオ分野 - 市場拡大
高齡化・医療高度化、ジェネリック医薬品

コンビニ店舗数 (千店)



<出所: 日本フランチャイズチェーン協会>

【事業展開】

- ・ エンジニアリング機能強化
- ・ メンテナンスサービス強化
- ・ 新商品開発・拡販(耐震天井、ジェネスタ 他)
- ・ 生産体制再構築(省人化・省力化)



耐震天井

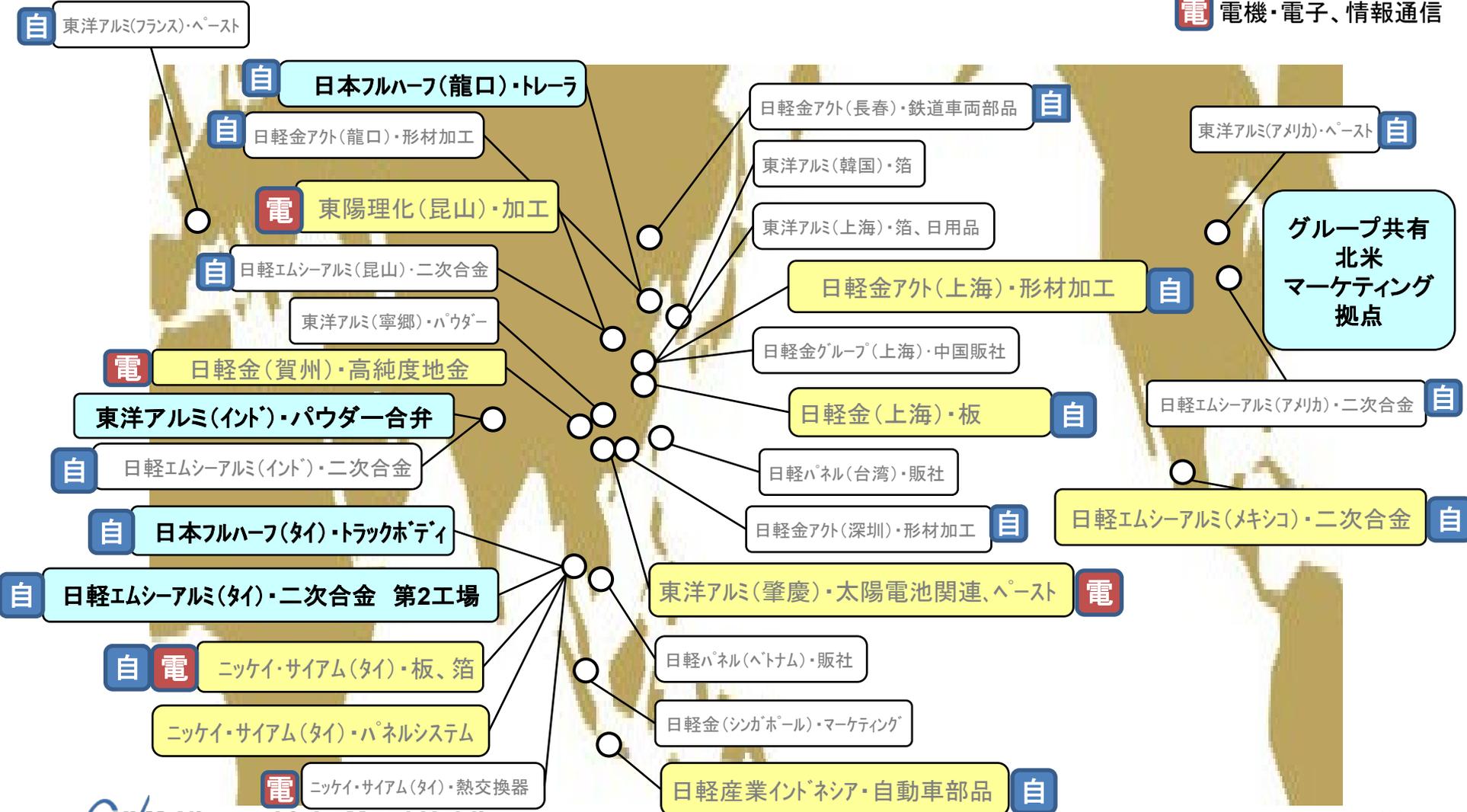
海外事業戦略

既存拠点

F13-15で増強、新規展開拠点

F16-18中計 重点拠点

自 自動車・輸送
電 電機・電子、情報通信



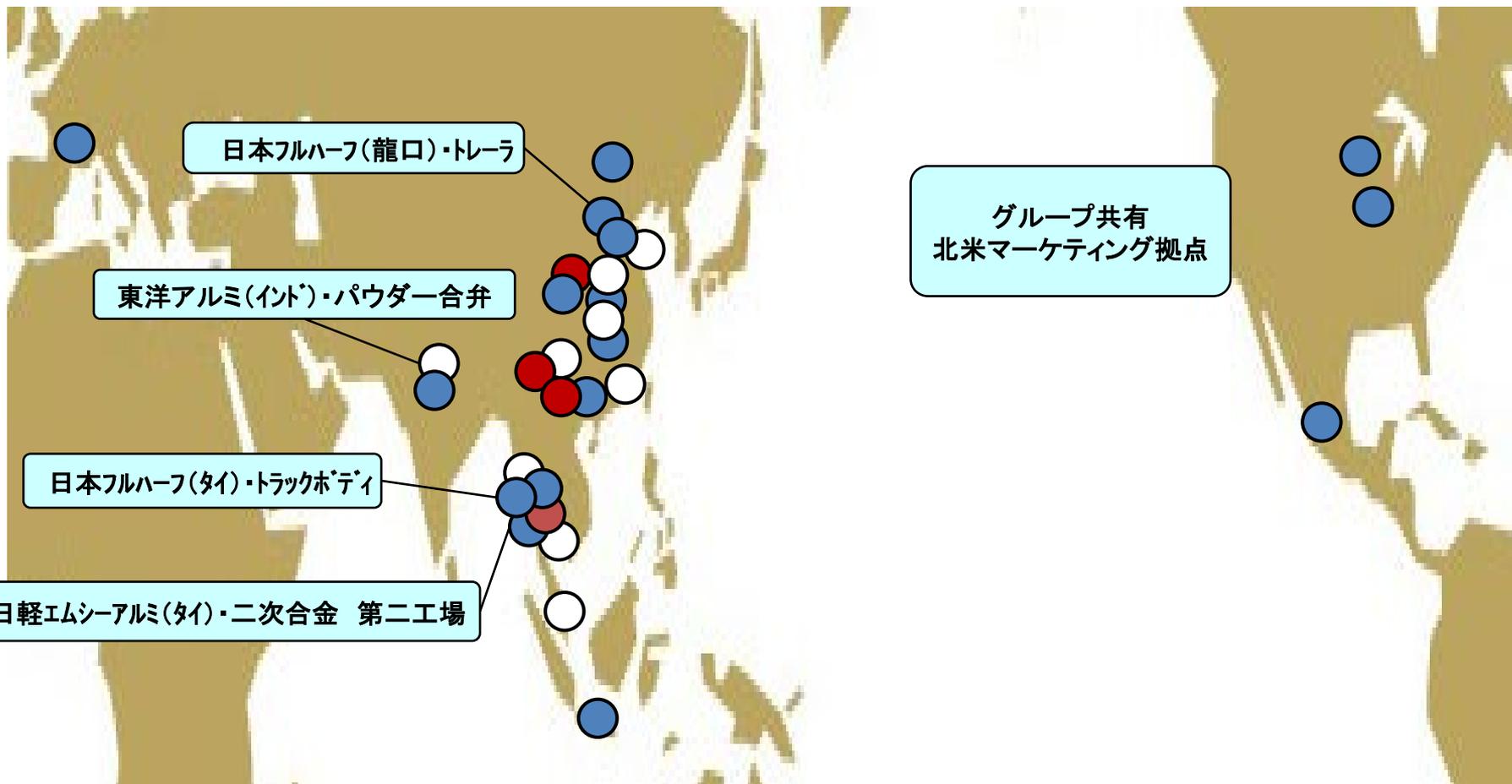
海外×分野別戦略による事業展開

● 自動車・輸送

● 電機・電子、情報通信

○ その他

F16-18中計 重点拠点



タイ×自動車 <日軽エムシーアルミ>

タイ第2工場建設

【市場】

- ・ AEC(ASEAN経済共同体)発足
- ・ ASEAN域内への輸出拠点

【第2工場】

- ・ 既存拠点フルキャパ(増産余地なし)
- ・ 南部に立地 - 洪水可能性が低く、BCPとしても機能

立地 : ヘマラートチョンブリ工業団地
 主要設備 : リジェネバーナー付タンデム溶解炉
 生産・販売量 : 18,000t/年

(進捗状況)

2016年10月 建屋完成
 12月 試運転
 2017年 1月 本格稼働



インド×パウダー・ペースト事業 <東洋アルミニウム>

- ・ 日本、アメリカ、フランス、中国に次ぐ5か国目の生産拠点
ターゲット市場 - インド国内、ASEAN、中東、アフリカ、南米など
- ・ 共同出資：東洋アルミ(74%)・MMP(26%)
- ・ 目的：汎用塗料向けアルミペーストの生産販売
- ・ 生産能力：2,200t/年
- ・ 立地：インド共和国マハラシュトラ州ナグプール



(進捗状況)

2016年5月 会社設立

2017年9月 生産開始



倉庫、プラント建屋基礎工事中

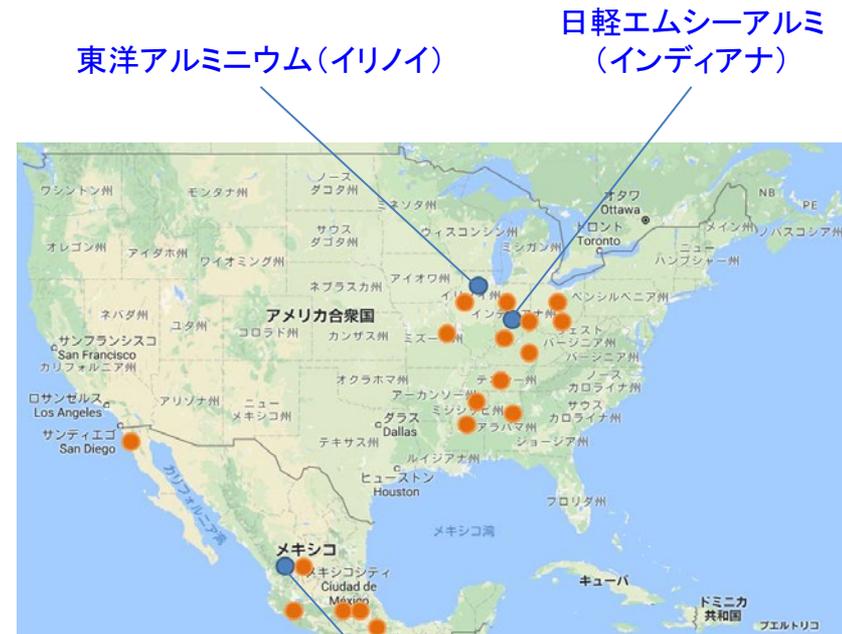
北米×グループマーケティング

グループ共有 北米マーケティング拠点検討

【ターゲット市場】

- 自動車
生産台数増加
環境規制に伴う軽量化需要
- 電機電子
ハイエンド品堅調
中南米等の需要増に伴う生産拠点拡大
- 食品、流通
HACCP先進国
コールドチェーン

マーケット主導
小さく生んで大きく育てる
地産地消



<基本方針>

1. グループ連携による新商品・新ビジネスモデルの創出

- グループ連携の強みを徹底的に追求した高付加価値を提供
- 顧客視点に基づき、ものづくりに周辺サービスを含めた商品・ビジネス開発

2. 地域別×分野別戦略による事業展開

- 資源投入する分野を地域と市場のマトリクスから選別
- ビジネスに応じ自由自在に集合・離散できる俊敏な組織運営

3. 企業体質強化（事業基盤強化）

- グループ連携視点でビジネス創生できる人財の育成
- 課題事業の収益向上

海外拠点の収益力向上

●ニッケイ・サイアム(タイ) パネル事業

- ・タイ国内 - 経済回復遅れ
フルーフマハジャックとの協業推進、
コストダウンで収益改善
- ・ベトナム営業拠点 - 受注増加



ニッケイ・サイアム(タイ)パネル工場

●フルーフマハジャック(タイ) トラック架装事業

- ・架装事業 - システム車・10ドア車、引合い増加
- ・パネル事業 - ニッケイ・サイアムとの協業推進



コールドチェーン協業

●ソンリンフルーフ(中国) トレーラ・トラック架装事業

- ・中国国家标准改定・過積載規制⇒受注増
- ・フィリピン大手車両架装メーカーセントロ社と提携(ライセンス供与)
- ソンリンフルーフが部材部品供給



●日軽エムシーアルミ(メキシコ) 二次合金事業

- ・日系自動車向け出荷増
- ・原料調達安定化
- ・新規顧客開拓推進

チーム日軽金の強みを活かし事業領域をさらに拡大

輸送

素材・工業
製品

自動車

電機・
電子

情報通信

環境・安全・
エネルギー

公共・景観・
建築・建材

食品・健康・
日用品

サービス

日本軽金属(化成品事業部)

日本軽金属(板事業部)、ニッケイ・サイアム(板事業部)、東陽理化学研究所

日軽金アクト、日軽形材、理研軽金属工業

東洋アルミグループ

日軽パネルシステム、ニッケイ・サイアム(パネル事業部)

日本
フルハーフ

日本電極

日軽エムシーアルミ

エヌ・エル・エム・エカル

日軽松尾

日本軽金
属(電極箔
事業部)

住軽日軽エンジニアリング

日本軽金属(メタル・素形材事業部)、アルミニウム線材

日本軽金属(熱交事業部)、日軽熱交、ニッケイ・サイアム(熱交事業部)

日軽産業

日軽金
オーリス

日軽情報
システム

日軽物流

日軽金グループの使命（経営理念）

アルミとアルミ関連素材の用途開発を
永遠に続けることによって、
人々の暮らしの向上と地球環境の保護に貢献していく

「単純な素材メーカー」ではなく、

お客様の顕在的・潜在的「欲しい」を満足する
複合的でかつお客様に「喜び」を与える商品および
サービス を作るにより成長を続ける企業体

= お客様に信頼され、選んでいただける企業体

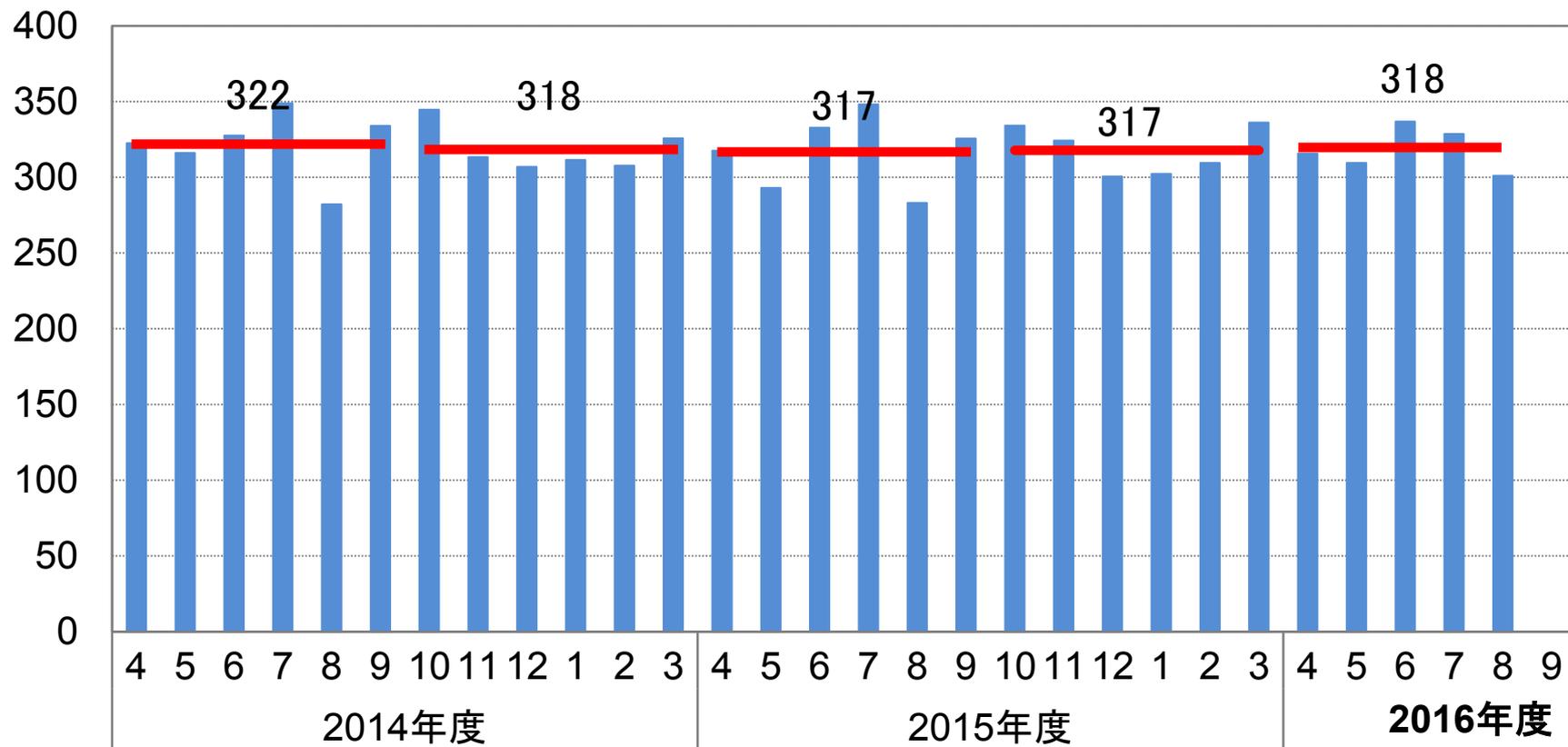
A large, metallic whale is shown flying through a clear blue sky. The whale's body is highly reflective, showing highlights and shadows that give it a three-dimensional, metallic appearance. Below the whale, the iconic snow-capped peak of Mount Fuji is visible, with its reflection clearly mirrored in the calm water of a lake in the foreground. The overall scene is surreal, combining a natural landscape with a fantastical, metallic creature.

チーム日軽金として、異次元の素材メーカーへ

補足資料

国内アルミ製品総需要の推移

(千トン)



<出所:日本アルミニウム協会>

第2四半期決算 — 期初予想比

(億円)

	2016/4-9 実績	2016/4-9 期初予想	増減
売上高	2,171	2,200	△29 (△1.3%)
営業利益	133	120	+13 (+10.9%)
経常利益	114	105	+9 (+8.5%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	85	70	+15 (+22.1%)

経常利益

(億円)

	2016/4-9 実績	2015/4-9 実績	前年同期比	2016/4-9 期初予想	期初予想比
経常利益	114	111	+3	105	+9

(億円)

前年同期比 +3億円 の内訳	
営業利益	+8
為替差損益	△13
その他	+8

(億円)

期初予想比 +9億円 の内訳	
営業利益	+13
為替差損益	△16
その他	+12

親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円)

	2016/4-9 実績	2015/4-9 実績	前年同期比	2016/4-9 期初予想	期初予想比
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	85	68	+17	70	+15

(億円)

前年同期比 +17億円 の内訳	
経常利益	+3
特別利益	+4
特別損失	+3
税金費用	+3
非支配株主に帰属する 四半期純利益	+4

(億円)

期初予想比 +15億円 の内訳	
経常利益	+9
特別利益	+4
税金費用	△1
非支配株主に帰属する 四半期純利益	+3

通期業績予想 — 期初予想比

(億円)

	2016年度 予想 (10/28)	2016年度 期初予想	増減
売上高	4,450	4,550	△100
営業利益	270	270	0
経常利益	250	250	0
親会社株主に帰属 する当期純利益	160	160	0
有利子負債	1,650	1,780	△130
D / E レシオ	1.2倍	1.3倍	△0.1p
R O C E	9.2%	9.3%	△0.1p

セグメント情報 — 期初予想比

(億円)

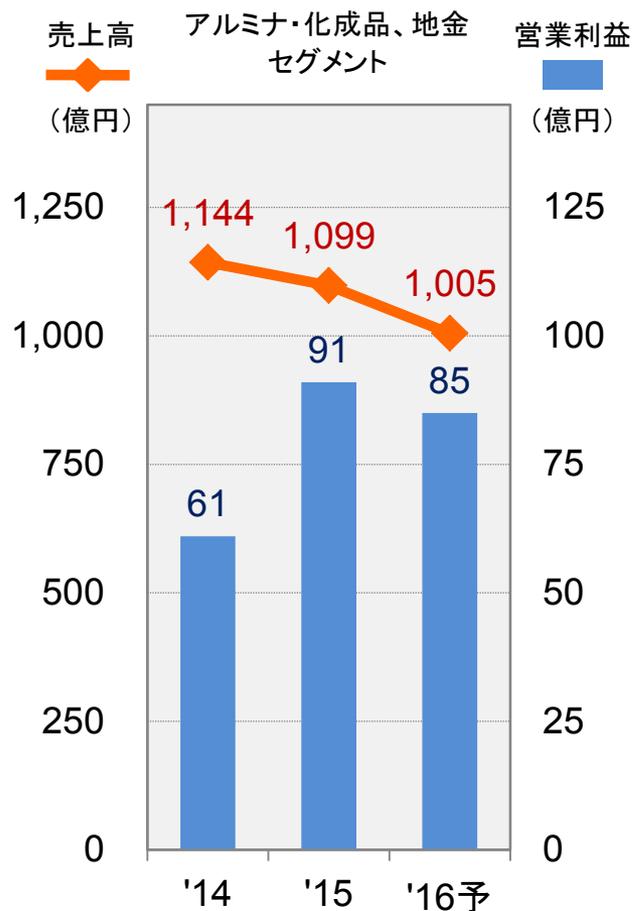
	売上高			営業利益		
	2016年度 予想 (10/28)	2016年度 期初予想	増減	2016年度 予想 (10/28)	2016年度 期初予想	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,005	1,020	△15 (△1.5%)	85	75	+10 (+13.3%)
板、押出製品	945	1,000	△55 (△5.5%)	55	55	0 (0%)
加工製品、 関連事業	1,535	1,530	+5 (+0.3%)	100	100	0 (0%)
箔、粉末製品	965	1,000	△35 (△3.5%)	60	70	△10 (△14.3%)
管理・共通	—	—	—	△30	△30	—
合 計	4,450	4,550	△100 (△2.2%)	270	270	0 (0%)

セグメント情報 — 前期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2016年度 予想 (10/28)	2015年度 実績	増減	2016年度 予想 (10/28)	2015年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,005	1,099	△94 (△8.5%)	85	91	△6 (△7.0%)
板、押出製品	945	1,033	△88 (△8.6%)	55	31	+24 (+79.9%)
加工製品、 関連事業	1,535	1,492	+43 (+2.9%)	100	110	△10 (△8.7%)
箔、粉末製品	965	1,020	△55 (△5.4%)	60	68	△8 (△12.1%)
管 理 ・ 共 通	—	—	—	△30	△32	+2
合 計	4,450	4,644	△194 (△4.2%)	270	268	+2 (+0.7%)

アルミナ・化成品、地金

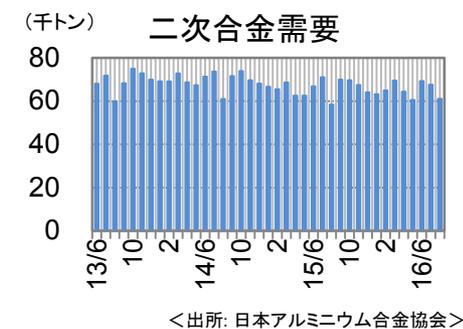
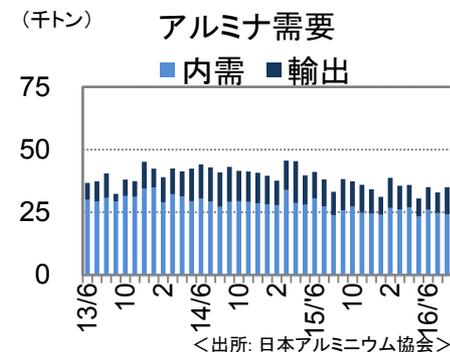


アルミナ・化成品

- ファイン製品向けに対応
- 営業力、開発力の強化により顧客ニーズに対応

日軽エムシーアルミ

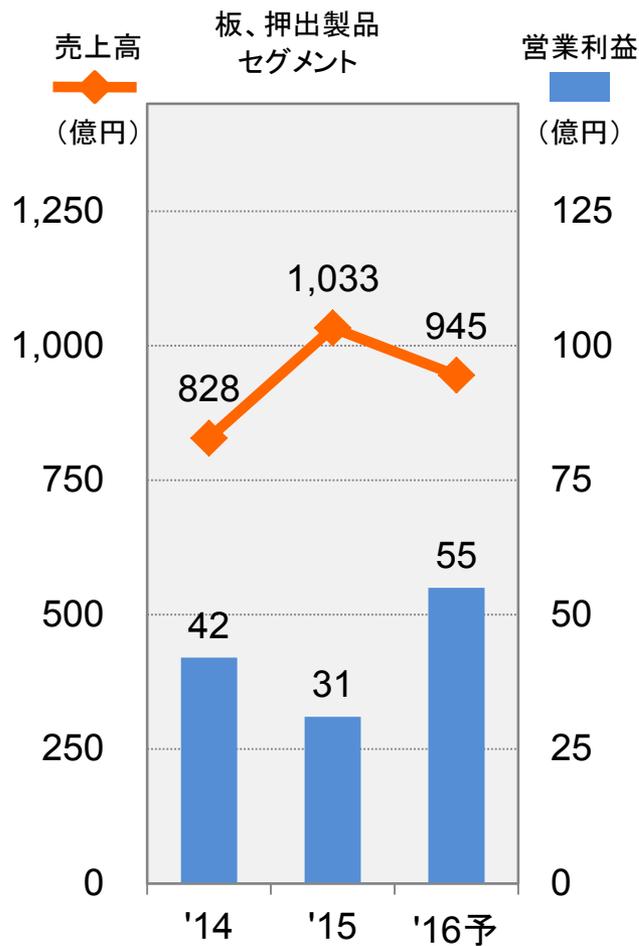
- インド合併会社の収益力強化、メキシコ合併事業の安定化
- 国内販売では販売数量の拡大
- 中国での開発合金の新規受注



日軽エムシーアルミ販売量 (千トン)

	16年度 上期			16年度 下期			16年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
国内	70.2	66.0	+6%	67.0	68.0	△1%	137.2	134.0	+2%
海外	68.1	61.8	+10%	65.6	63.8	+3%	133.7	125.6	+6%
合計	138.3	127.8	+8%	132.6	131.8	+1%	270.9	259.6	+4%

板、押出製品



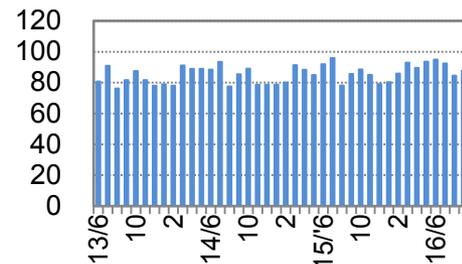
板

- 半導体・鉄道向け厚板および輸送分野でのトラック需要が増加
- 自転車部品の量産開始
- 東陽理化学研究所との加工連携

板事業部販売量 (千トン)

	16年度 上期			16年度 下期			.16年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		42.3	40.7	+4%	44.9	44.3	+1%	87.2	85.0

(千トン) 板製品需要(内需)



<出所: 日本アルミニウム協会>

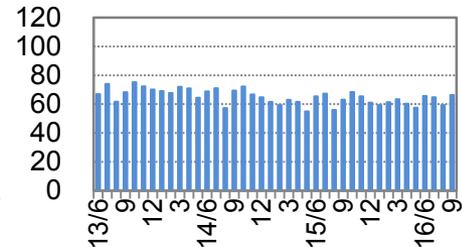
日軽金アクト

- 国内は輸送分野のトラック架装向けが好調
- 中国では自動車の搭載車種により販売が影響

日軽金アクト販売量 (千トン)

	16年度 上期			16年度 下期			.16年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		19.7	19.4	+2%	22.0	20.5	+7%	41.7	39.9

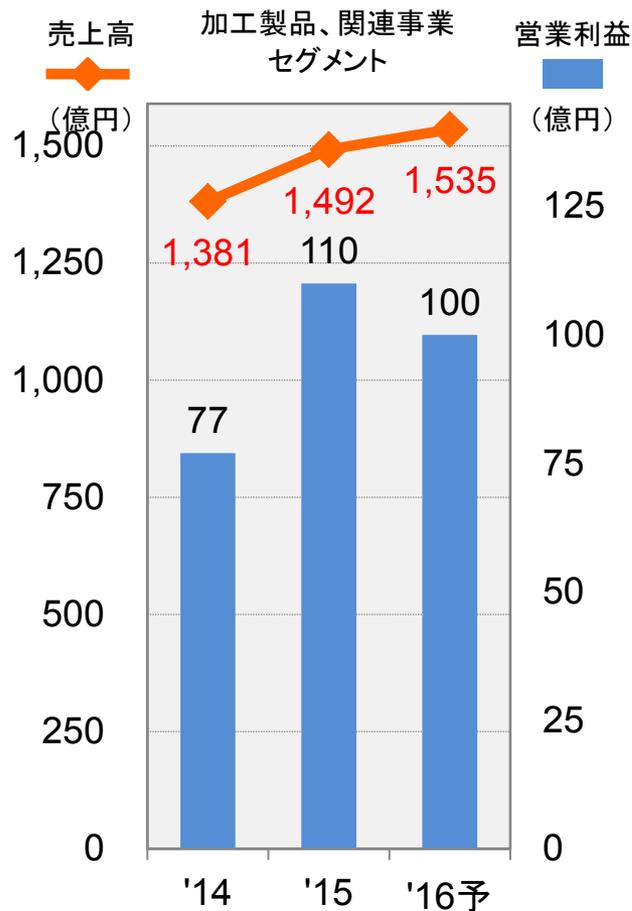
(千トン) 押出製品需要(内需)



<出所: 日本アルミニウム協会>

2016年度 連結業績予想

加工製品、関連事業



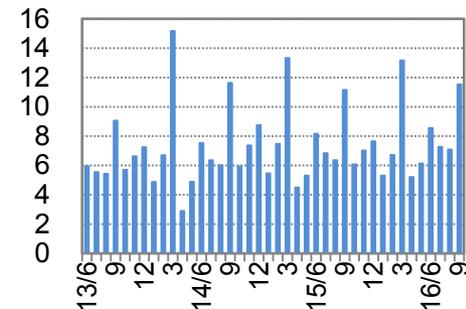
日本フルハーフ

- 国内のトラック需要は堅調が続く
- 排ガス規制前の買い替え需要増加
- 一般雑貨貨物量で需要が増える
- 生産性向上のため、主力の厚木工場のリニューアルに着手

日軽パネルシステム

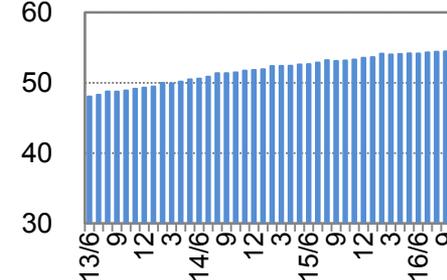
- コンビニ業界は積極的な動きが継続
- 低温物流倉庫は、大型物件が一区切りで、足踏み
- 半導体・精密機器向け、医療・バイオ向けのクリーンルーム分野が増加
- ノンフロンパネルへの全面切り替えを実施し、市場のニーズを先取りした商品を投入

(千台) 普通トラック登録台数



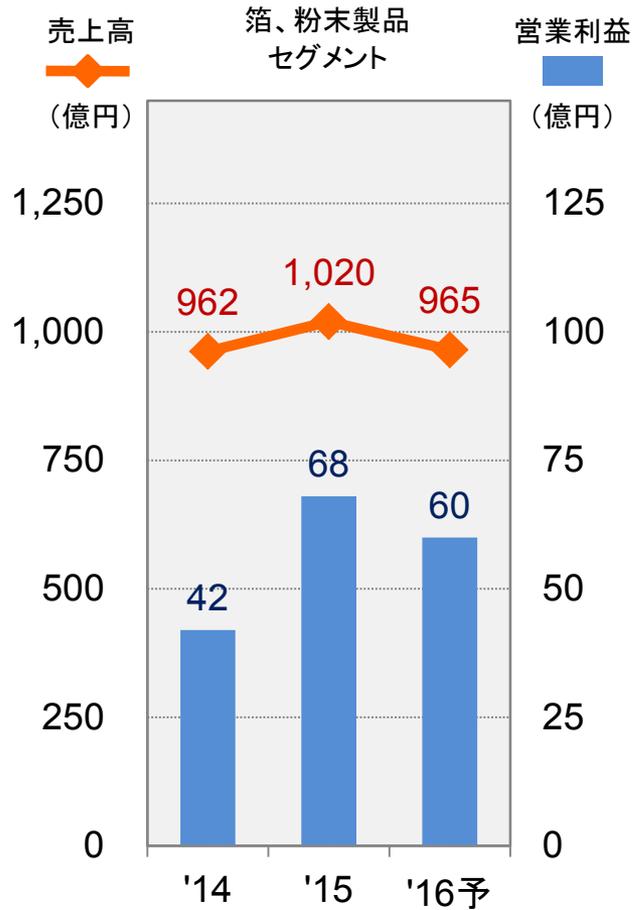
<出所: 日本自動車販売協会連合会>

(千店) コンビニ店舗数



<出所: 日本フランチャイズチェーン協会>

箔、粉末製品



東洋アルミニウム

<箔事業>

- コンデンサ箔低迷
- トーヤルパス(貫通孔箔)、粉末積層箔、トーヤルロータスの拡販

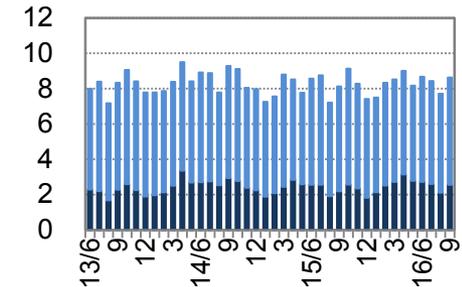
<パウダー・ペースト事業>

- 高付加価値アルペーストに期待
- 輸出向け着色アルミが堅調

<ソーラー事業>

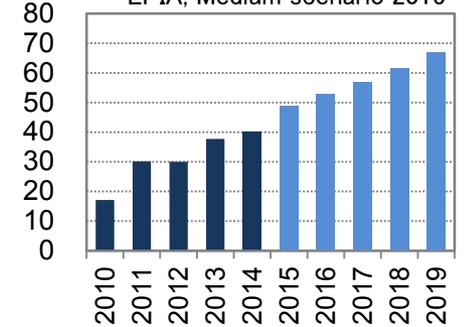
- 中国市場の比重がさらに高まる
- 中国・台湾メーカーに対抗すべく、コストダウンや変換効率向上を改良

(千トン) 箔製品需要
■ コンデンサ箔 ■ その他の箔



<出所: 日本アルミニウム協会>

(GW) 太陽電池需要予測
- EPIA, Medium scenario 2015-



<出所: European Photovoltaic Industry Association>

設備投資・減価償却費 — 前期比

(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2016年度 予想(10/28)	2015年度 実績	差異	2016年度 予想(10/28)	2015年度 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	49	29	+20	38	36	+2
板、押出製品	53	60	△7	49	49	0
加工製品、関連事業	68	55	+13	38	38	0
箔、粉末製品	39	45	△6	43	41	+2
合計	209	189	+20	168	164	+4

主要会社の業績 — 前期比

(億円)

	2016年度予想 _(10/28)			2015年度実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,229	41	78	1,353	34	53
東洋アルミニウム (連結)	959	62	60	1,025	68	64
日軽エムシーアルミ (連結)	535	23	23	591	20	18
日本フルハーフ (連結)	666	35	34	610	31	28
日軽金アクト (連結)	417	21	22	440	17	19

NLM 日本軽金属ホールディングス

本資料についての注意事項

1. 本資料は2017年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。